取扱説明書

DAYTONA corp.

R71363①/④

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

ローダウンフロント フォークスプリング	適応車種	商品NO.
	FAZE <MF11>	71363

■ご使用前に必ずご確認ください■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。	
⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
その他	その他の警告及び注意を告げるものです。		

⚠警告

実施	・フロントホイールの脱着作業が必要ですので車体をジャッキアップしての作業になります。作業に入る前に必ず安全を確保した上で作業を行ってください。 ・走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。

⚠注意

実施	・この商品の取り付けはオートバイ店もしくは認証整備工場へ依頼してください。 ・取り付け後約 100ｋｍ 走行しましたら各部を点検してください。その後は約 500ｋｍ毎に必ず点検を行い、各部に異常がないか確認してください。 ・取り付け後、走行フィーリングが変わっていますので必ず感覚を確認してください。この作業を怠ると重大な事故につながります。 ・取り付けは確実に行ってください。また、走行中にネジ部等が緩まないよう、トルクレンチを使って所定トルクで確実に締め付けてください。
禁止	・サスペンションスプリングは加熱しないでください。ヘタリや破損の原因となります。 ・サスペンションスプリングの切断等の加工は一切行わないでください。ヘタリや破損の原因となります。又、フロントフォークのストローク不足によって操安性が低下します。 ・純正対比約 25mm のフロントローダウン仕様となります。純正と比べ、バンク角が少なくなり、バンク時に車体下回りを擦りやすくなりますので、注意して走行してください。 ・この商品は、記載されている適合車種以外の車両には使用しないでください。 ・作業中、車体が倒れないよう十分注意し、作業を行なってください。
その他	・商品の不良について商品については保証できますが、商品以外の費用（取り付け工賃や塗装費等）の保証は一切できませんのでご了承ください。 ・フロントのみの装着の場合はサイドスタンドの交換は必要ありませんが、斜面や駐車、ぬかるみ等への駐車はしないでください。 ・この商品は、予告無しに価格や仕様の変更をする場合があります。予めご了承ください。 ・この商品は純正フロントフォークスプリング対比で、バネレートがアップしますので、乗り心地が固くなります。

本商品の特徴

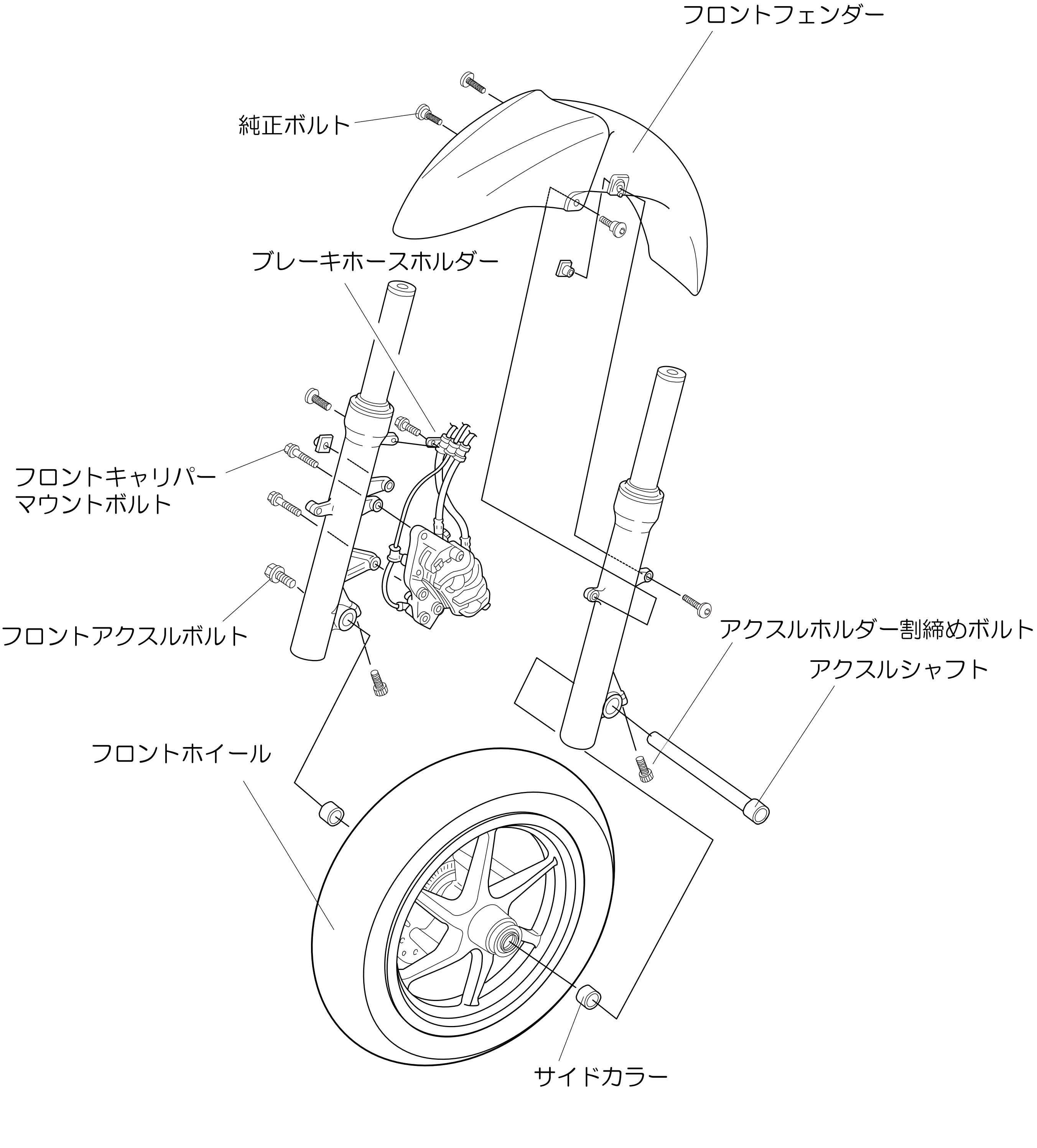
・フロントを約 25mmダウンし、理想的なローダウンフォルムを実現します。
・ローダウンしながらも硬すぎないバネレートを選択し、乗り心地重視の設計としています。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	ローダウンスプリング		2

取付方法

1. 右側の純正フォークアウターチューブから、ブレーキホースホルダーを固定している純正ボルト（1 本）を外し、ブレーキホースホルダーをフリーの状態にします。
2. 純正ボルト（４本）を取り外し、フロントフェンダーを取り外します。
3. フロントキャリパーマウントボルト（２本）を取り外し、キャリパーをフリーな状態にします。
4. フロントアクスルボルト（１本）を取り外し、アクスルホルダー割締めボルト（2 本）を緩めてアクスルシャフト、サイドカラーを抜き取り、フロントホイールを外します。
5. フォークキャップボルトを緩めます。
6. アンダーブラケットのインナーチューブ締め付けボルト（4 本）を緩め、フロントフォーク Assy を取り外します。

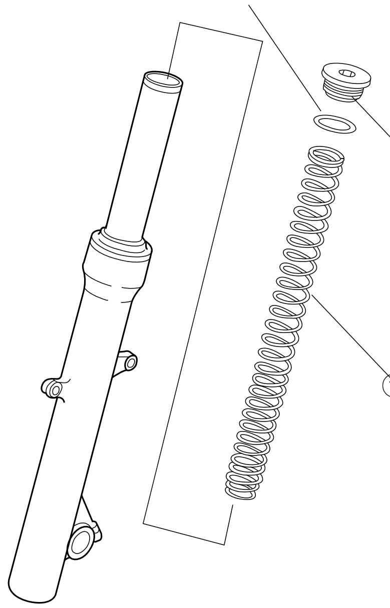


7. 純正フォークスプリングが飛び出ないように注意して、フォークキャップボルトを取り外し、純正フォークスプリング、フォークオイルを抜き、①ローダウンフロントフォークスプリングと交換します。①フロントフォークスプリングは上下方向に注意してください。

（ピッチが狭いほうが下側です。）

8. フォークオイルを規定量入れて、油面を調整します。詳細は◆**油面調整方法**◆を御覧ください。（このスプリングは､油面調整をＳＴＤ基準で設計しています。）

9. 取外しの逆の手順でもとに戻し作業は完了です。

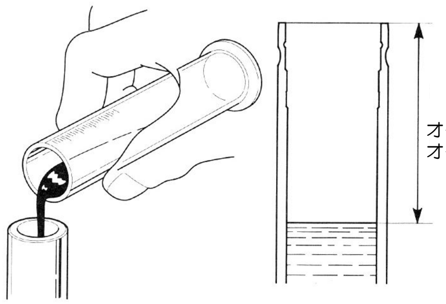


◆油面調整方法◆

① 規定量を目安にフォークオイルを注入します。

② フォークチューブを数回伸縮させ、混入しているエアを抜きます。

③ フォークチューブをいっぱいに沈めた状態（最屈時）でオイルレベルを調整します。



◎ **このスプリングは、油面調整をＳＴＤ基準で設計しています。但し、お好みにより、油面の調整をしていただいても構いません。**

車種	**オイル量（１本）**	**オイルレベル（インナーチューブ上端から）**	**番手**
FAZE<MF11>	201ｃｃ	95mm（最屈時）	#10

◎ **油面とオイルの番数を上げると、簡単にどうなるかといえば・・・**

○オイルの番手を上げると全体的に固くなる。

○フォーク油面を上げると初期沈みが基準値の場合と比較し変化は無いが、沈み込んでから堅くなる。

となりますので、お好みにより設定してください。

株式会社 デイトナ　〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona-mc.jp　E-mail: info@daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで